

UN loved

わたしが、わたしでいるために。

万田邦敏監督作品 森口瑤子 仲村トオル 松岡俊介

2001年カンヌ国際映画祭批評家週間招待作品
レイル・ドール賞&エキュメニク新人賞W受賞作品

J・MOVIE・WARS 5



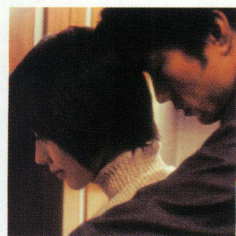
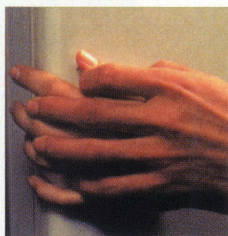
プロデューサー: 仙頭武則 協カプロデューサー: 片桐大輔、久保聡 脚本: 万田珠実、万田邦敏 音楽: 川井憲次 撮影: 芦澤明子(J.S.C.) 照明: 金沢正夫 録音: 細井正次 美術: 郡司英雄 編集: 掛須秀一
協力: Calvin Klein 2001年 / ビスタカラー / モノラル / 35mm / 117分 製作: WOWOW+バンダイビジュアル 制作協力+配給: サンセントシネマワークス 公式ホームページ <http://unloved.acommy.com>

万田邦敏 監督作品

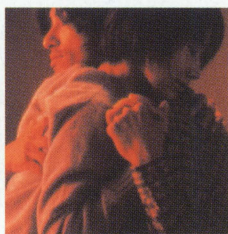
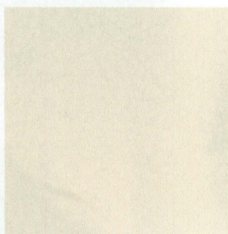
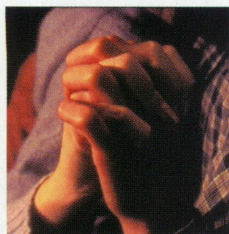
UNloved

http://unloved.acommy.com

J・MOVIE・WARS 5



プロデューサー:仙頭武則 協力プロデューサー:片桐大輔、久保聡 脚本:万田珠実、万田邦敏 音楽:川井憲次 撮影:芦澤明子(J.S.C.) 照明:金沢正夫 録音:細井正次 美術:郡司英雄 編集:掛須秀一
協力:Calvin Klein collection 2001年/ビスタカラー/モノラル/35mm/117分 製作:WOWOW+バンダイビジュアル 制作協力+配給:サンセントシネマワークス

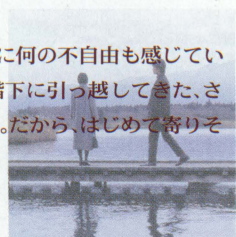


森口 瑤子
仲村 トオル
松岡 俊介

彼となら“あるがままの自分”でいられる…。
わたしが、わたしであるために必要な強さと繊細さ。三人がお互いに抱いた感情は、はたして愛なのだろうか？

自分に嘘をついたり、無理をしてまで欲しいものなんかない。一人で暮らす毎日を、光子は大切にしていた。その生活に何の不自由も感じていなかった。そんな光子を愛し、自分の成功を分かち合いたいと思う起業家、勝野。しかし、光子にとっては、アパートの階下に引っ越してきた、さえない運送会社の契約社員、下川が、かけがえのないものになっていった。彼となら“あるがままの自分”でいられる。だから、はじめて寄りそって眠った日、光子は、出会えた嬉しさに涙を流したのだ…。

男女三人の出会いと別れ。揺れ動く気持ち。彼女たちがお互いに抱いた感情は、はたして愛だったのだろうか？



2001年・第54回カンヌ国際映画祭批評家週間招待作品 レイル・ドール賞&エキュメニク新人賞W受賞!



人を愛するために、大切なことがある。揺れる感情を、綿密に計算し尽くされた演出で描き出し、2001年カンヌ国際映画祭でレイル・ドール賞&エキュメニク新人賞をW受賞!! “恐るべき新人”万田邦敏監督、長篇デビュー作。

『UN LOVED』は、学生時代に黒沢清監督と8mm映画を製作『神田川淫乱戦争』や『ドレミファ娘の血は騒ぐ』にスタッフとして参加した“恐るべき新人”万田邦敏監督、待望の長編映画デビュー作である。カンヌ国際映画祭では、シンプルだが綿密に計算された演出と主人公光子のキャラクターが『ダイヤの原石のようだ』と高い評価を受け、2001年カンヌ国際映画祭でレイル・ドール賞&エキュメニク新人賞をW受賞する快挙となった。脚本は、プライベートでも万田監督のパート

ナーである万田珠実と万田監督自身が、また、音楽を『リング』シリーズや『攻殻機動隊』で知られる川井憲次が担当。男女の感情の微妙な機微を繊細に表現している。他人と自分をくらべることなく“あるがままの自分”を貫こうとする主人公光子を映画初主演となる森口瑤子が時には強く、時には繊細に演じ切った。彼女との恋に翻弄される対照的な男2人——片や気鋭の青年実業家、片やさえない運送会社派遣社員——を、仲村トオルと松岡俊介が新境地開拓で挑んでいる。

6月22日(土)~7月5日(金)

モーニング&レイトショー

10:45 (~12:42)

20:05 (~22:02)

扇町
ミュージアムスクエア

電話番号 (06) 6361-0088

www.oms.gr.jp